

## 1/35 アメリカ中戦車 M4A1 シャーマン(中期型)

### 組み立てを始める前にお読みください



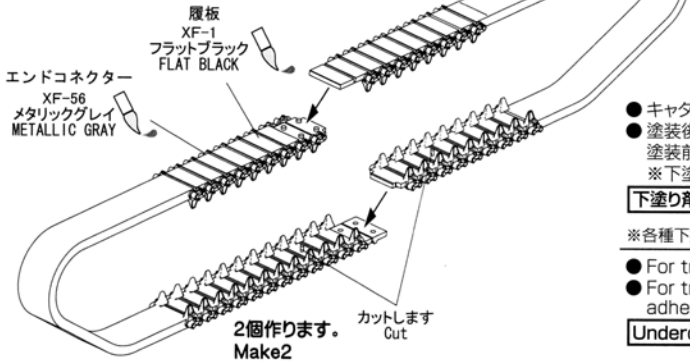
MORINAGA, YOH

- あらかじめ組立説明書に目を通し、全体の流れを把握しておきましょう。
- このキットは4種類の塗装例を選べますが、それぞれで一部仕様が異なります。最初にどの塗装例にするか決めてください。
- ナイフやニッパーなどの刃物の取り扱いには充分ご注意ください。商品の性格上先端の尖った部品があります。お取り扱いには充分注意して下さい。
- 部品とランナーをつなぐゲートには部品の下側に入り込んでいるものと、横に付いているものがあります。注意してカットしてください。
- 部品は接着剤をつける前に接着位置を確認するなど必ず仮組みをして下さい。特に可動部には接着剤がつかないように注意してください。
- 成形品には金型の油や離型剤がついている場合があります。組み立て中の汚れ落としを兼ねて塗装前に中性洗剤で洗うことをお勧めいたします。
- 成形品の接着にはプラスチックモデル用接着剤、エッチングの接着には瞬間接着剤をご使用ください。

- Study the instructions thoroughly before assembly.
- When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.
- Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used.
- Use plastic cement and paints only (available separately).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.

### 1 キャタピラの組立 Track assembly

接着部分が密着していることを確認し、接着が乾くまで動かさないようにします。  
Assemble the track with plastic model cement.



XF-62  
オリブドラブ  
OLIVE DRAB

組立図中で特に指示のないところは全て基本色(オリブドラブ)です。

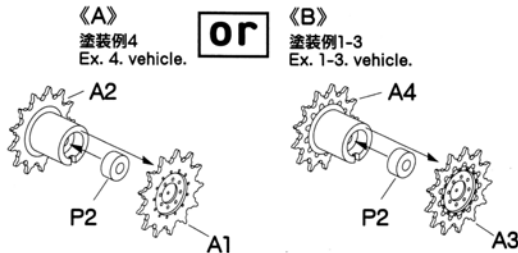
- キャタピラの組み立てには瞬間接着剤をご使用ください。
  - 塗装後に強くこすって塗料が取れてしまうのを防ぐために塗装前の下塗りをおすすめします。  
※下塗りが厚塗りにならないように気を付けてください。
- 下塗り剤** (例)タミヤ スーパーサーフェイサーガイアノーツ  
ガイアマルチプライマーなど  
※各種下塗り剤の取り扱いには製品の注意書きをよく読んでご使用ください。

- For track assembly and paint
- For track assembly, please use cyanoacrylate adhesive. ※Using undercoat to keep paints.

**Undercoat** TAMIYA Surface Primer primer  
Gaiantes primer series

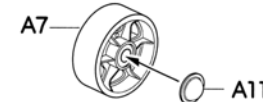
### 2 ドライブsprocketの組立 Drive sprocket assembly

2個作ります。  
Make 2



### 3 ホイールの組立 Wheel assembly

《アイドラーホイール》  
2個作ります。  
Make 2



GREASE NIPPLE  
グリスニップル

A7  
B20



《ロードホイール》  
全部で12個作ります。  
Make 12



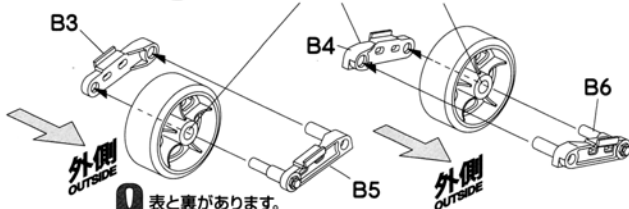
外側  
OUTSIDE

A7、B20はグリスニップルの模様のある側が外側になります。

### 4 サスペンションアームの組立 Suspension arm assembly

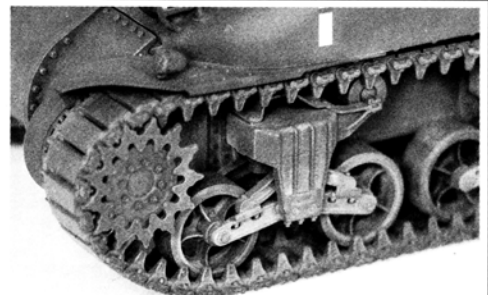
各6個作ります。  
Make 6

① ホイールに接着剤が着かないように注意します。  
Part B5 and B6 must only be glued to part B3 and B4.



② 表と裏があります。

③ 次の工程でボギーを組み立てる際に、矢印で示した側が外側になるように注意します。  
During bogie assembly, please note outside direction



## 5 ボギーの組立 Suspension assembly

左右各3個作ります。サスペンションアームを組み込むまでは間を開けず一度の工程で組み立てます。図は左側用を示しています。  
Make 3 for each side. Following illustration shows the left side.

①

**B18 (右側用B19)**

※接着しません。  
Do not cement.

**B9**

※向きに注意  
Note direction of B9.

**B2**

② 選択  
できます。  
または  
or

**スペーサーA** サスペンションの高さを固定したい場合はスペーサーパーツAを選びます。  
If you want to fix the height of the suspension, choose the A Spacers

**発泡ゴムシート** 発泡ゴムのシートを約4.5ミリX11ミリの大きさにカットします。下の図を参考にカットしてください。  
Rubber sheet Cut rubber sheet. 4.5mm X 11mm

**原寸** 4.5mm X 11mm

カットした発泡ゴムのシートをサスペンションの間にピンセットなどで押し込みます。3枚が標準ですが、情景などで台に固定する場合などは、前後のサスペンションを4枚にするなどしてテンションを調節します。  
The foam rubber is pushed in between the bogie and suspension spring as shown in diagram. Adjust tension to taste

サスペンションの沈み込みの再現の必要ない場合、発泡ゴムシートを組み込みます。B2を一番下まで下げた状態(標準位置)で接着し、高さを固定する方法もあります。お客様の使用状況に応じて選択してください。  
To fix the suspension, do not install foam rubber sheets and glue B2 into lowest position.

③ B2とB9はスムーズに動くように接着しません。B9は向きに注意して取り付けます。  
Do not glue B2 to B9. Pay attention to direction, when you install B9.

④

**B9**

**B2**

※接着しません。  
Do not cement B2 and B9.

②

**B18 (右側用B19)**

Rubber sheets

**B2**

**B9**

**B9**

※接着しません。  
Do not cement.

**B22 (右側用B21)**

外側  
OUTSIDE

③

**B15 (右側用B16)**

塗装例4  
Ex. 4. vehicle.

**B17 (右側用B23)**

※接着しません。  
Do not cement.

外側  
OUTSIDE

④

① 接着が乾くまで動かさないようにします。  
Until glue dries, try not to move.

① B18とB22 (右側用はB19とB21)が完全に固まる前にサスペンションアームをボギーに押し込みます。アームの車体側と外側の向きに注意します。Push road wheels in before cement sets.

## 6 車体下部の組立 Hull lower assembly

①から⑤の順番に組み立てます。各部品の仮組みを必ず行い、接着部分の確認をしておきます。部品を仮組みしてから流し込み接着剤で接着するとよいでしょう。この工程は中断せずに一度に組み立てて下さい。  
Assemble steps ① to ⑤ in sequence. This assembly should be performed without interruption.

**E9**

**E3**

**E5**

**E6**

**E8**

**E1**

**E10**

**J24** S=2/1 **E8**

**J24** **C43**

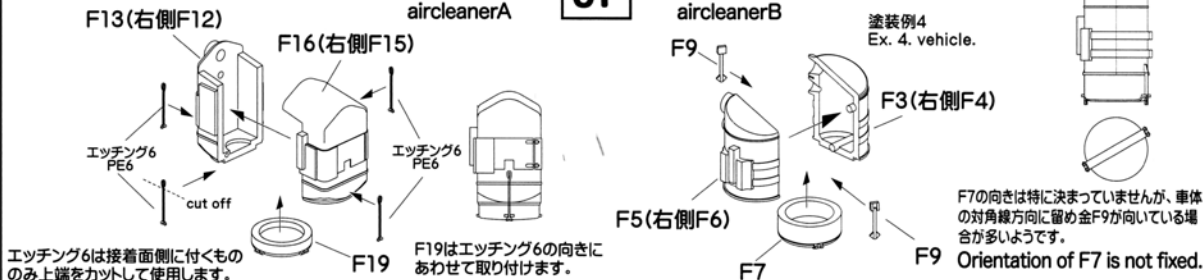
②で組み立てるティファレンシャルカバーが3ピース型のときはC43を、1ピース型のときはJ24を選択します。  
If the differential cover is the 3-piece type, select C43. If it is the 1-piece type, select J24.

## 7 エアクリナーの組立 Air cleaner assembly

実車ではエアクリナーのタイプは塗装例4の車輛がBを装備している以外はA/B  
どのタイプか確認できません。塗装例4以外はお好みのタイプをお選びください。

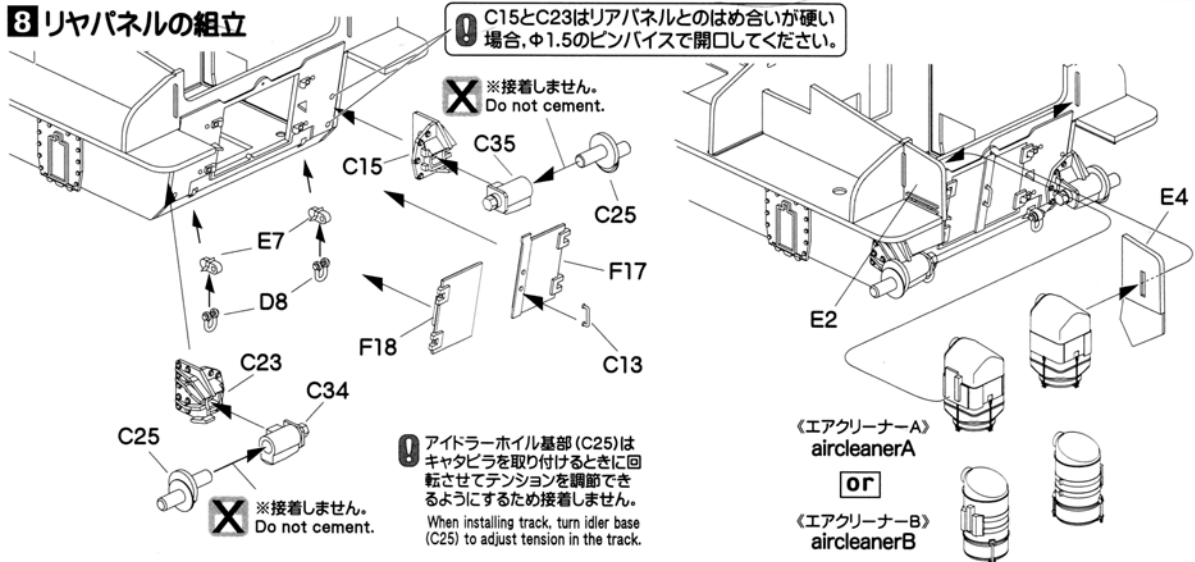
For all examples, with  
the exception of type 4.

《エアクリナー-A》  
aircleanerA **OR** 《エアクリナー-B》  
aircleanerB



## 8 リヤパネルの組立

**0** C15とC23はリアパネルとのめめ合いが硬い場合、φ1.5のピンバイスで開口してください。



## 9 ティファレンシャルカバーとフェンダーの組立 Differential cover and fender assembly

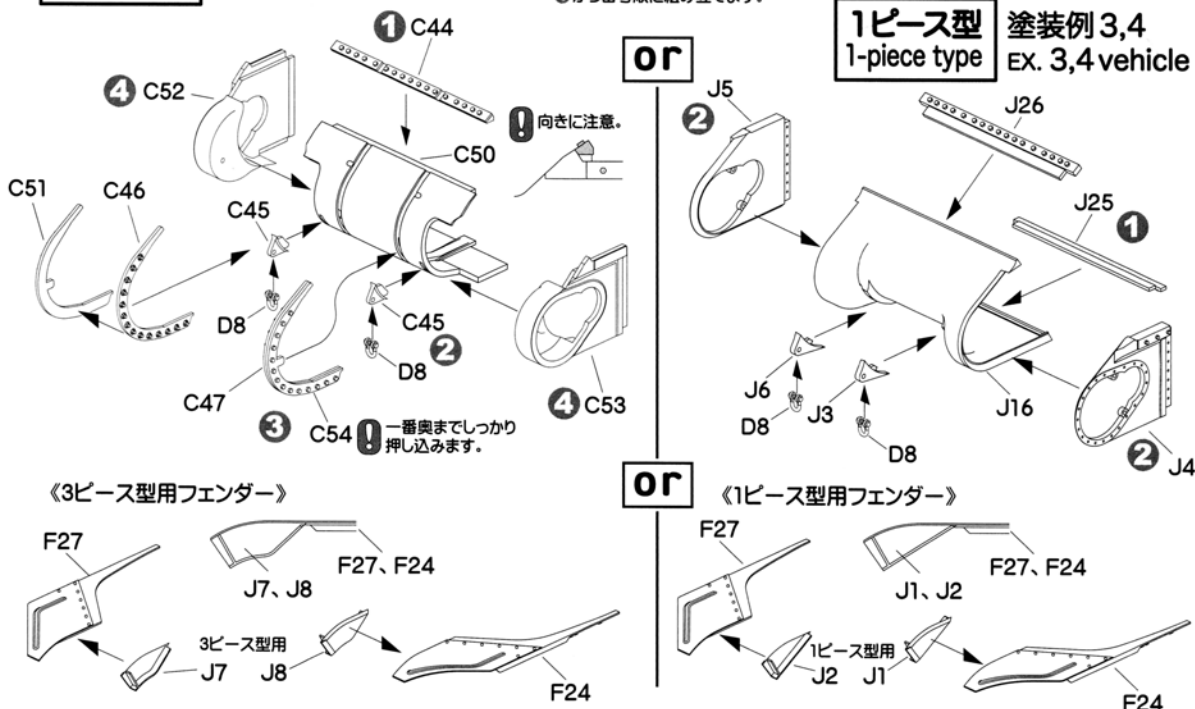
**3ピース型** 塗装例 1,2  
3-piece type EX. 1,2 vehicle

ティファレンシャルカバーは3ピース型か1ピース型のどちらかを選んで組み立てます。塗装例1、2は3ピース型(推定)、塗装例3は1ピース型、塗装例4は1ピース型(推定)を指定しています。

フェンダーはティファレンシャルカバーのタイプに合わせて組み立てます。組み合わせに注意して組み立てます。

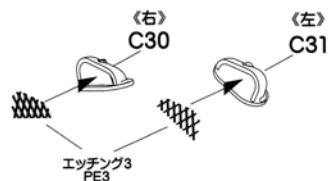
The paint job for examples 1 and 2 are of the 3-piece type. The paint job for examples 3 and 4 are of the 1-piece type.

①から番号順に組み立てます。



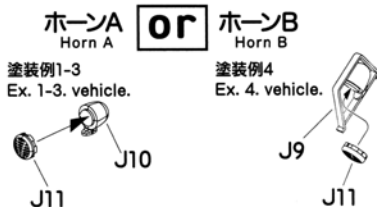
## 10 車体上部部品の組立 Hullupper part assembly

《グローサーボックスカバーの組み立て》

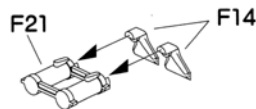


《ホーンの組み立て》

塗装例にあわせてどちらか選びます。



《排気管の組み立て》

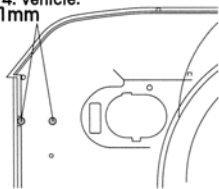


## 11 車体上部の組立 Hull top assembly

### 塗装例4

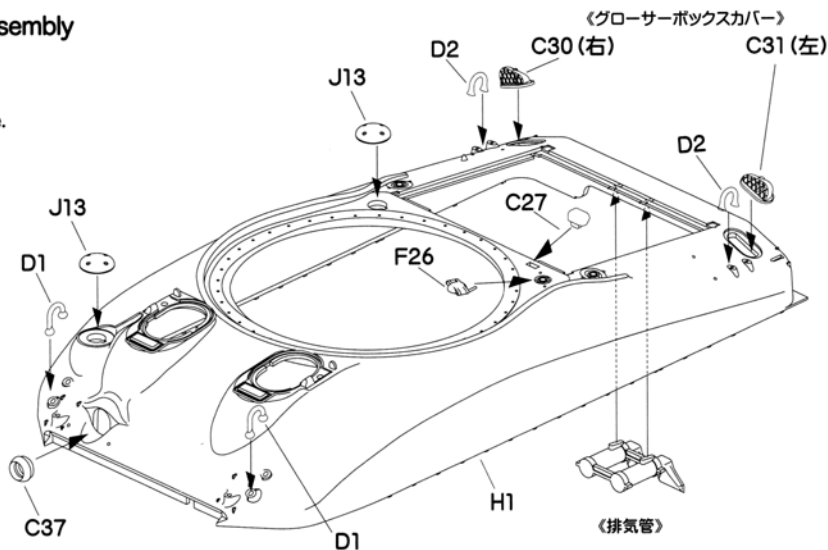
裏側から1mmのドリルで開口します。 Make Hole.

Ex. 4. vehicle.  
1mm



Make Hole

● 車体上部前面の開口部は斜めの面に対して直角方向に開けます。



## 12 車体上部の取り付け Hull top assembly (cont)

車体上部は浮いていないか良く確かめながらしっかり接着してください。

Take care gluing  
Hull top securely

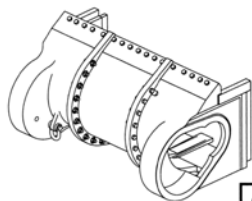
● 車体前方機銃C41は車体上部には接着せずに機銃防盾C29にのみ接着します。

Part C41 must only be glued to part C29.

塗装例4 (推定)  
Ex. 4. vehicle.  
F1

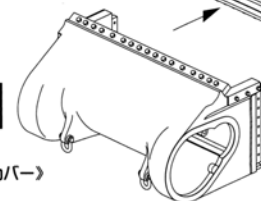
C29

X-10  
ガンメタル  
GUN METAL  
C41



or

《ティファレンシャルカバー》



《エッチングパーツについて》

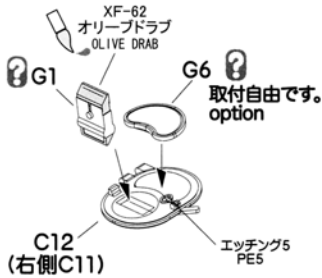
- エッチングパーツの切り出しには、下に厚めのプラ板等を敷いてカッターナイフなどで慎重にカットして下さい。切り出しの際、下が柔らかいとパーツが変形します。
- 切り出したエッチング部品はブリッジ(繋ぎ目)の部分をやすりなどできれいに成形して下さい。
- 直線部分の曲げ加工には専用工具を使うか、金尺等をしっかり当ててずれないように丁寧に曲げて下さい。
- 接着にはゼリー状瞬間接着剤か透明のゴム系接着剤をお使いください。
- 塗装面には金属用プライマーを塗布して下さい。

### 13 ドライバースハッチの組立

#### Drivers hatch assembly

##### 《ハッチ裏側の工作》

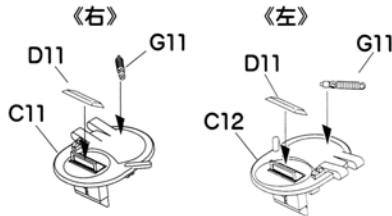
G6は取り付け自由です。ペリスコープ(G1)は透明か色付きの部品を選びます。  
The periscope (G1) is a clear part. Paint as per the color annex



#### ちょっとひと手間!

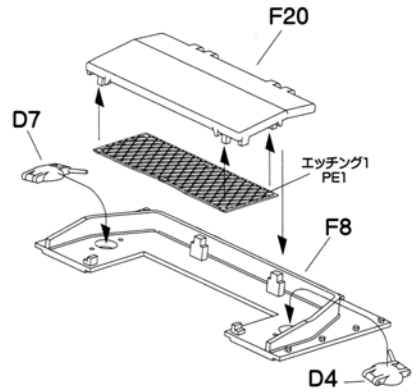
φ0.3mm位の真鍮線等を使用してハッチに取手を付けるとよりリアルに仕上がります。右の原寸図を参考に工作してください。

For Detailup  
Using φ0.3 brass wire for handles. (Not included)

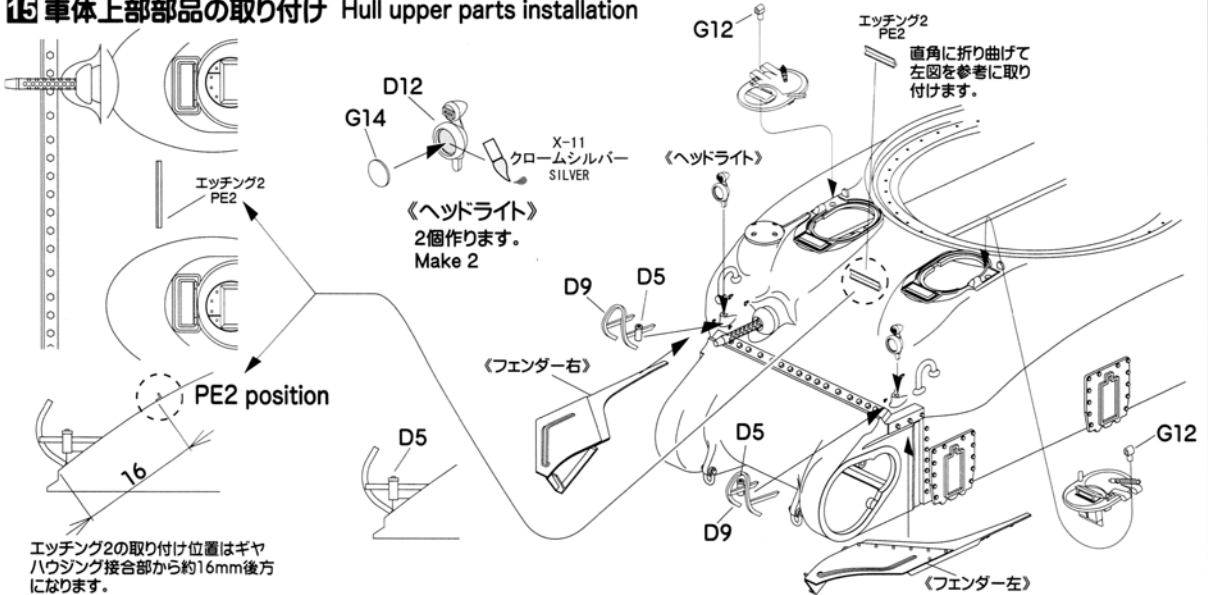


### 14 エンジンテッキの組立

#### Engine deck assembly



### 15 車体上部部品の取り付け Hull upper parts installation

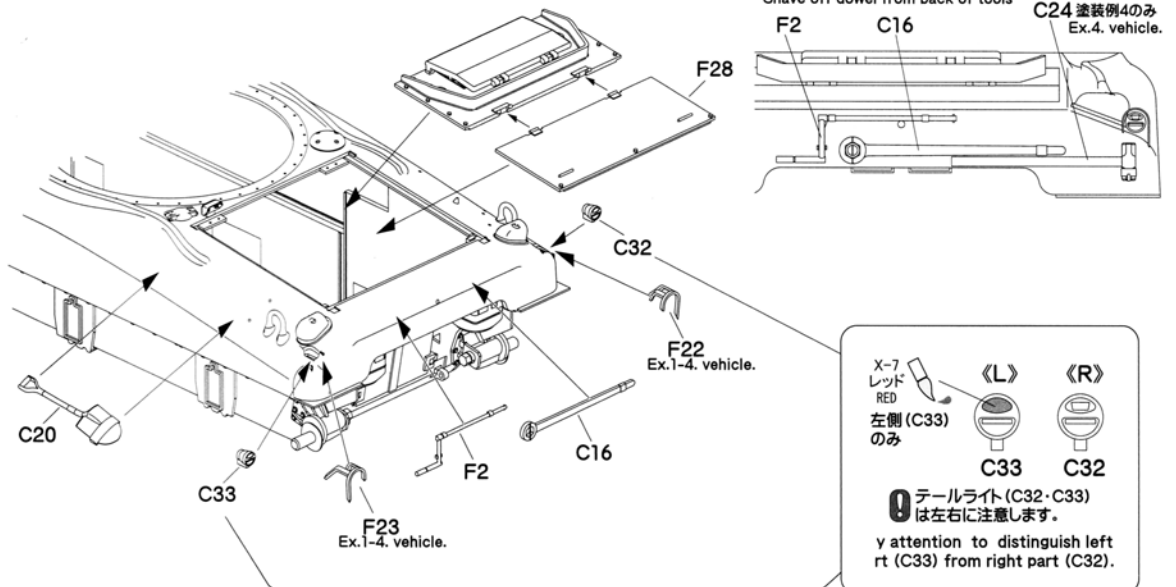


エッチング2の取り付け位置はギヤハウジング接合部から約16mm後方になります。

### 16 エンジンテッキの取り付け

#### Engine deck installation

車体後部の工具類は裏側の半球凸をカットして下図を参考に取り付けます。  
Shave off dowel from back of tools



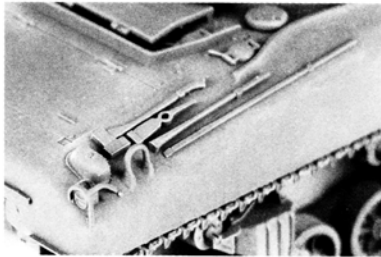
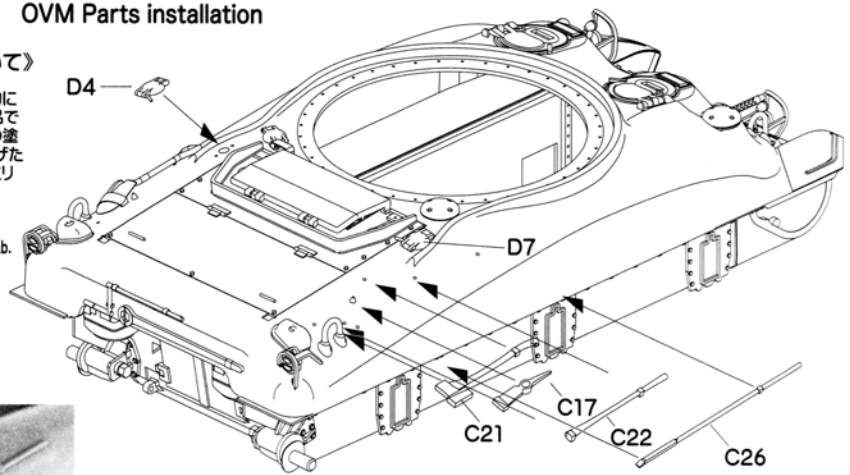
テールライト (C32・C33) は左右に注意します。  
Pay attention to distinguish left (C33) from right part (C32).

## 17 車体右側部品の取り付け OVM Parts installation

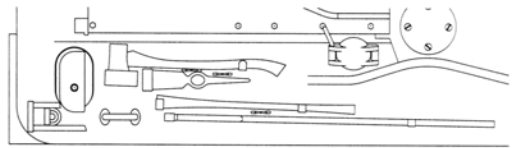
### 《OVM(車外装備品)の塗装について》

アメリカ製の軍用車輛の車外装備品は基本的にオリブドラブで塗装されていました。本製品でも塗装指示は車体色との前提に立ち、個別の塗装指示はしてありませんが、使用中に色はげたり、汚れなどの表現をすると、単調にならずリアルになるでしょう。

**Hull Accessories Painting Guide**  
American hull accessories were basically olive drab. Even when painted the paint usually came off showing the olive drab or base material.



S=1/1

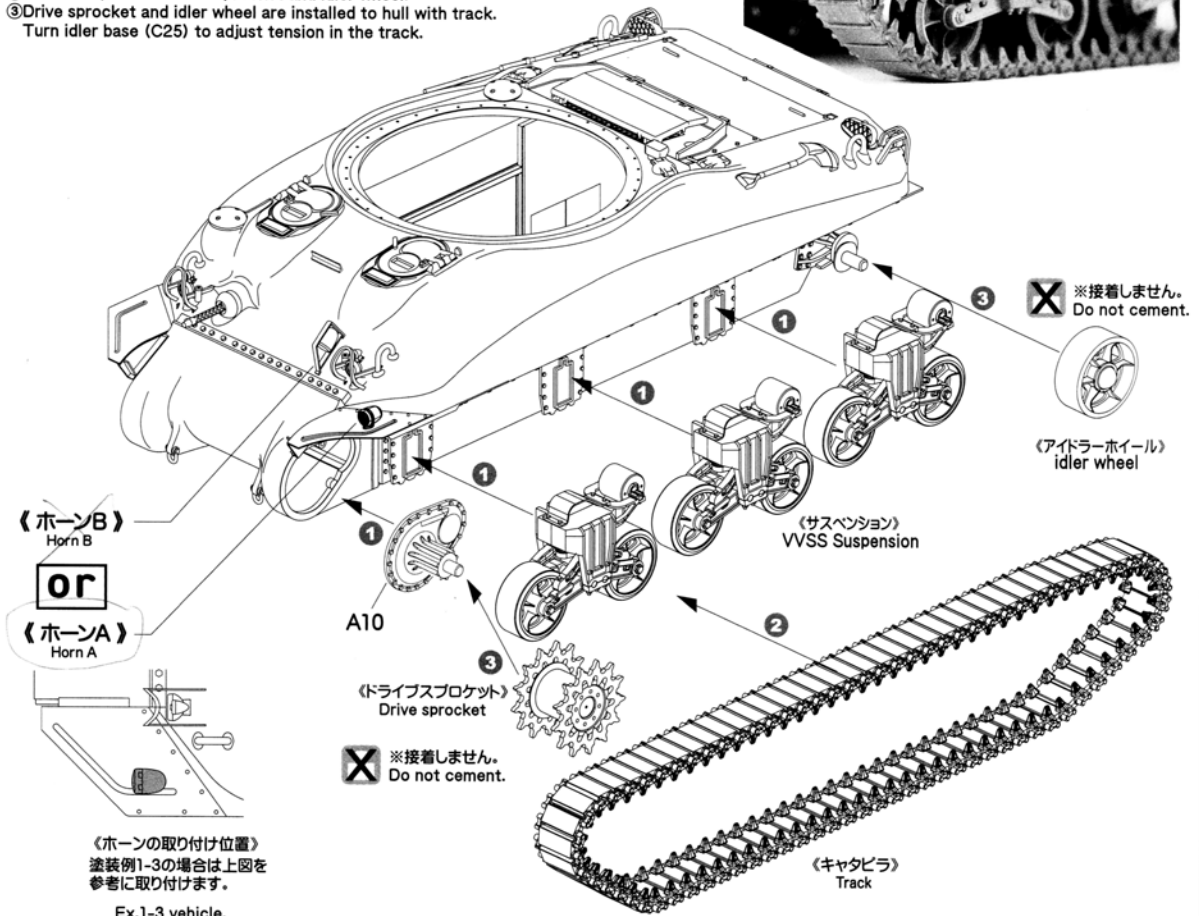
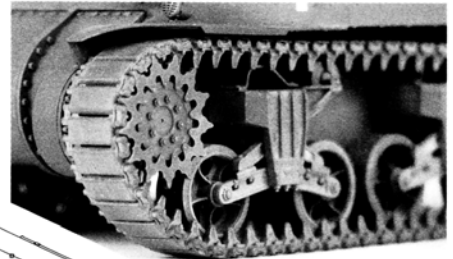


## 18 キャタピラの取り付け VVSS Suspension

車体にファイナルドライブ (A10) とサスペンションを接着し、良く乾燥させます。ドライブスプロケットとアイドラーホイールにキャタピラを巻きつけ同時に基部に差し込みます。イドラーホイールの基部を慎重に動かしながらテンションを調整します。右側も同様に取付けます。

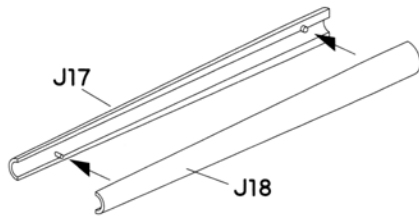
### 《Assemble steps ① to ③》

- ① Install A10 and Suspensions. Allow cement to dry.
- ② Track wrap around drive sprocket and idler wheel.
- ③ Drive sprocket and idler wheel are installed to hull with track. Turn idler base (C25) to adjust tension in the track.



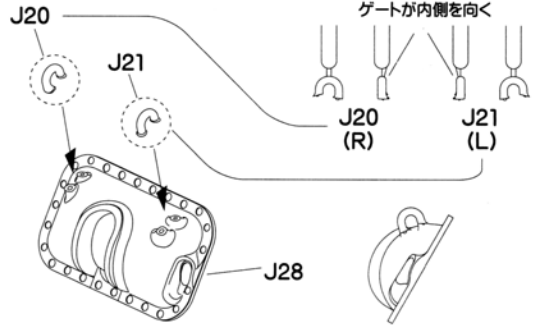
# 19 主砲の組立 Gun assembly

## 《主砲の組立》

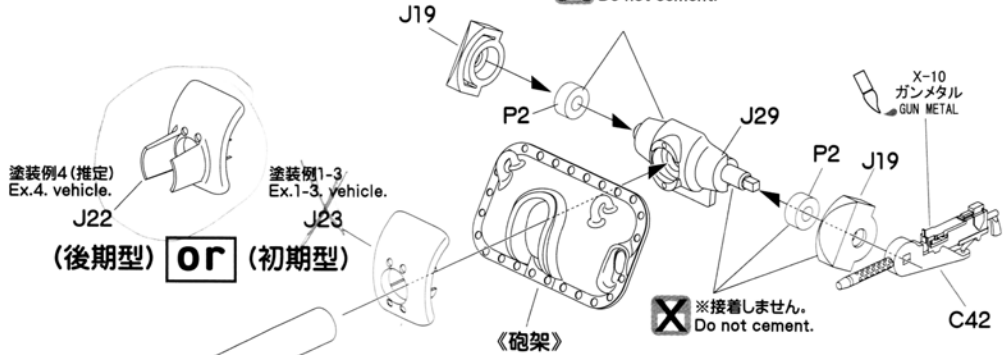


## 《砲架の組立》

① 左右を間違えないように注意します。



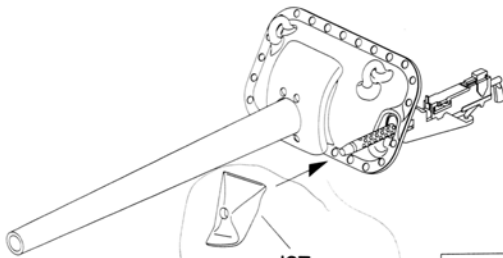
✗ ※接着しません。Do not cement.



防盾 J22、J23は J29にのみ接着します。主砲と連動するように仮組みで位置をよく確認してください。



実車のM34砲架です。同軸機銃は取り外されています。車体はM4初期型。



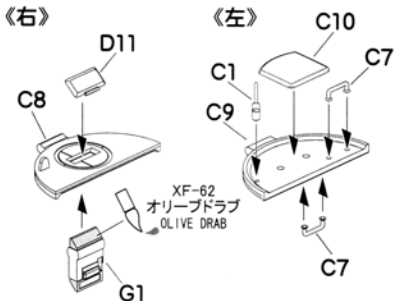
✗ ※接着しません。Do not cement.

塗装例1,2,4 (推定) Ex.1,2,4. vehicle.

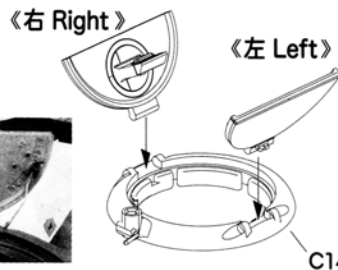
② 同軸機銃用の小防盾 (J27) は砲身の可動範囲に注意しながら接着せずに押し込みます。

# 20 砲塔部品の組立

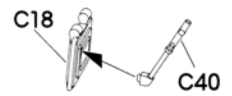
## 《コマンドースハッチ》 commander's hatch



実車のコマンドースハッチパッドは失われています。



## 《排莢ハッチ》



実車の排莢ハッチ (半開状態)

## 21 M2重機関銃の組立 M2 Machine gun assembly

このページではキューボラ上に取り付けるM2重機関銃の組み立てを行います。  
非常に細かい部品が多いので慎重に組み立てましょう。

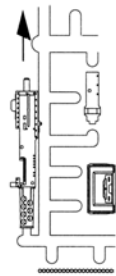


### A 機銃本体の組立

ランナーから  
機銃本体を引  
き抜きます。

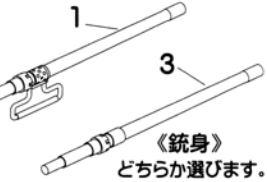
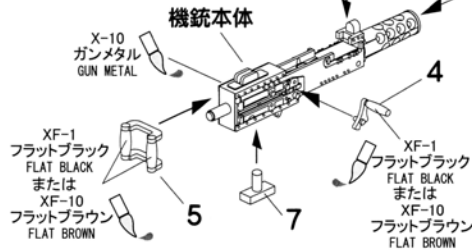
ゲートの跡を  
整形します。

どちらか選びます。



《閉状態》

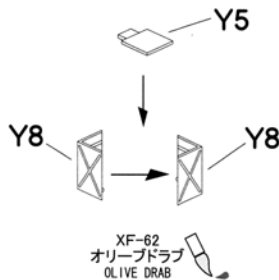
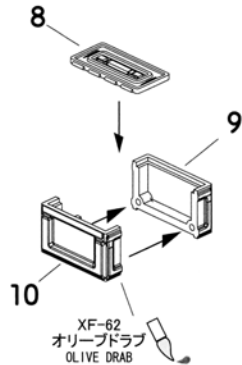
《開状態》



### B 弾薬箱の組立

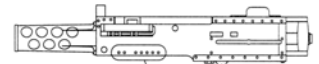
《100発用弾薬箱》

《50発用弾薬箱》

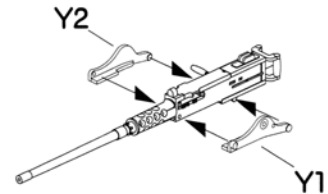


### C 揺架の取付

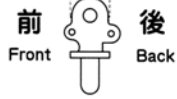
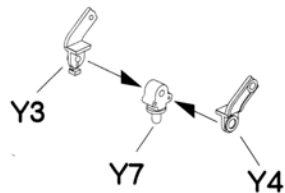
機銃本体を取付けず  
揺架のみで組み立て  
ることもできます。  
この場合は接着部分  
が非常に小さくなる  
ので注意して下さい。



揺架の付く部分のリベット  
模様を削り取ります。  
Shave off rivet pattern.



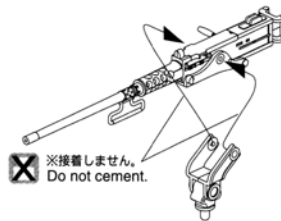
### D ピントルの組立



Scale=2/1

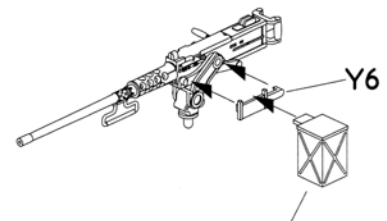
Y7の向きに注意して  
下さい。  
Pay attention to the  
direction of Y7

### E ピントルの取り付け



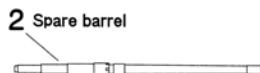
揺架左右Y1・Y2の凹み  
にピントルY3・Y4の凸部  
をはめ込みます。

### F 弾薬箱の取り付け



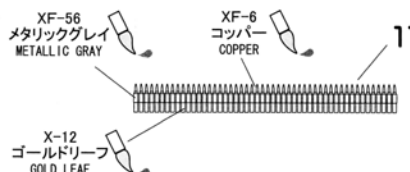
《50発用弾薬箱》  
弾薬箱の取り付け  
は自由です。

《予備銃身》



本体から取り外した状態  
で使用するときはこの部  
品を使います。

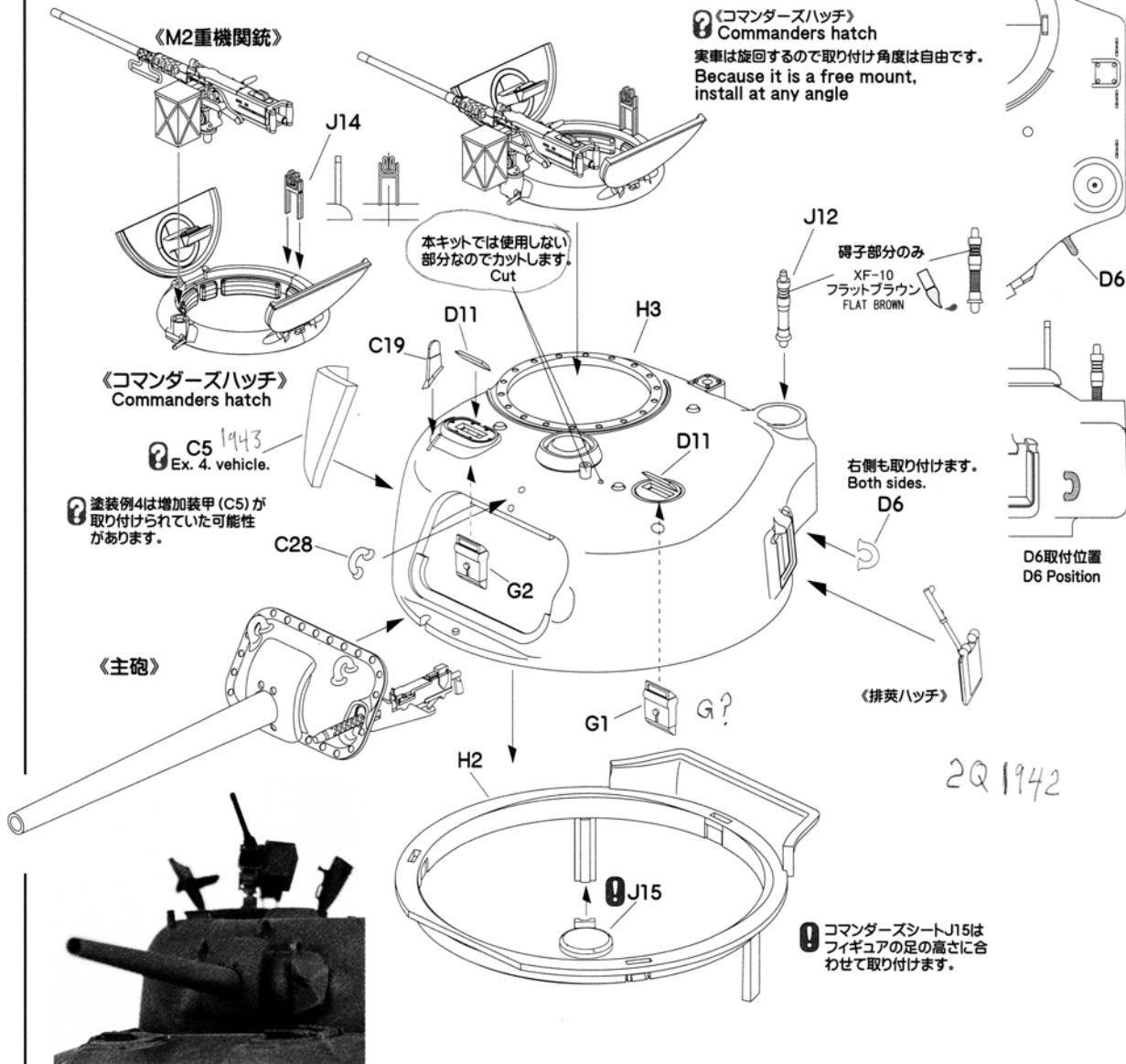
《弾帯》



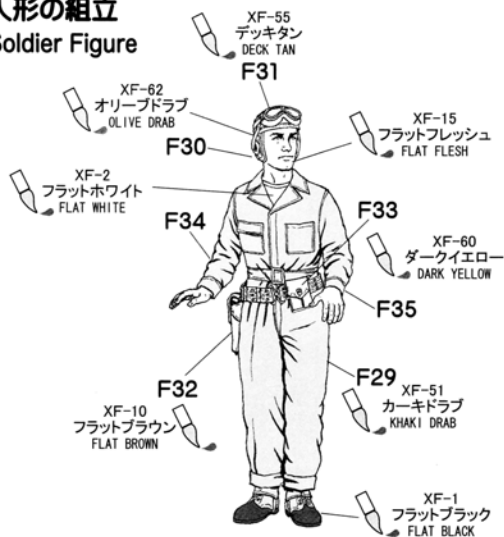
弾帯はお湯に浸けながらゆっくり  
何回か手で曲げて馴染ませます。  
急激に曲げると折やすいのでご  
注意ください。



## 22 砲塔の組立 Turret assembly



## 23 人形の組立 Soldier Figure



### 《戦車兵の服装について》

このキットの戦車兵は、HBT（ヘリンボーン・ツイル）のつなぎの作業服にタンクヘルメットを被った第2次大戦中のアメリカ戦車兵の標準的スタイルを再現しています。腰のピストルベルトにコルト・ガバメントのホルスターと弾薬ポーチ、ヘルメットにはゴーグルを取り付けています。

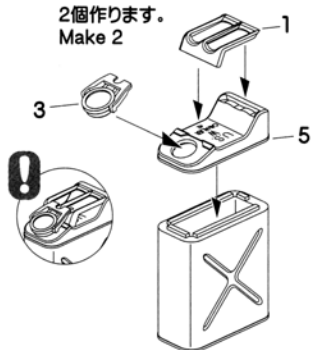
作業服は明るめのOD色、ピストルベルトと弾薬ポーチはダークイエロー、タンクヘルメットはOD色、ホルスターは茶色でした。

各部の塗装は左図を参照してください。

## 24 ジェリカンの製作 Jerrycan assembly

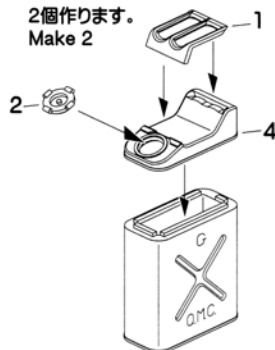
《水用》 water

2個作ります。  
Make 2



《ガソリン用》 gasoline

2個作ります。  
Make 2



■カラーナンバー対応表 ※近似色です

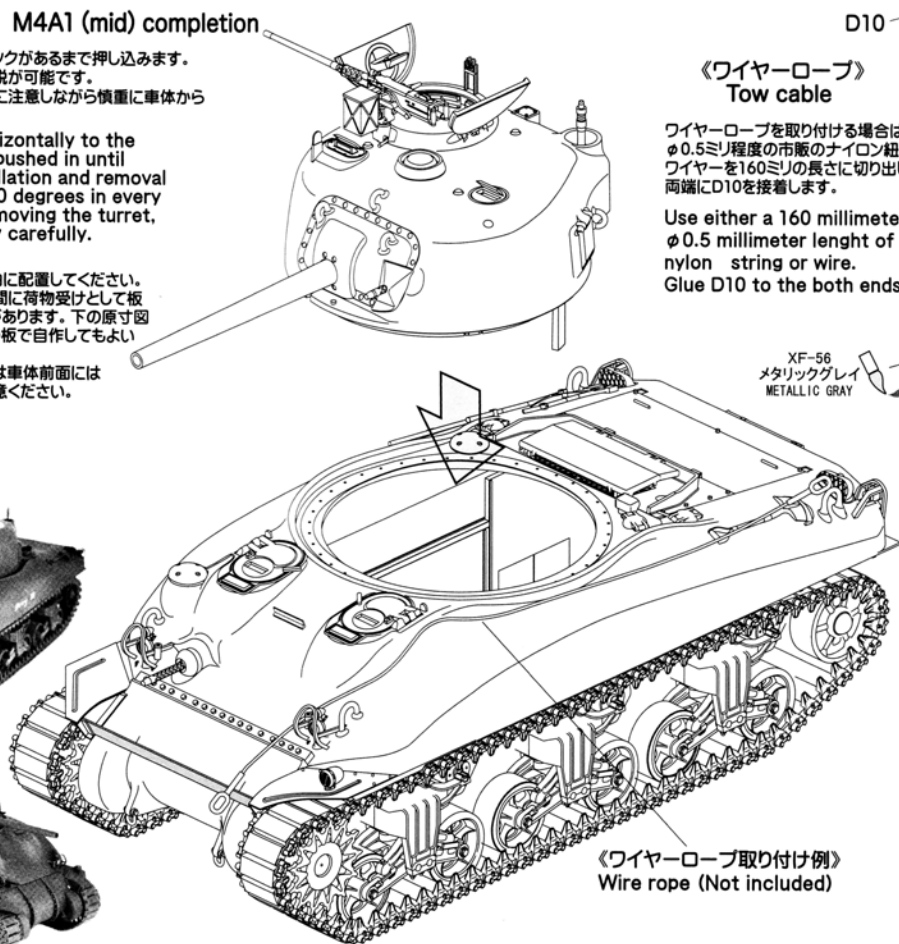
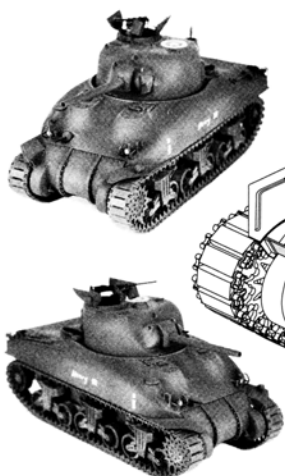
タミヤカラー	GSIクレオス・Mr.カラー
X-7 レッド	③ レッド
X-10 ガンメタル	28 黒鉄色
X-11 クロームシルバー	⑧ シルバー
X-12 ゴールドリーフ	⑨ ゴールド
XF-1 フラットブラック	33 つや消しブラック
XF-2 フラットホワイト	33 つや消しホワイト
XF-6 コッパー	10 カッパー
XF-10 フラットブラウン	131 赤褐色
XF-15 フラットフレッシュ	51 肌色(フレッシュ)
XF-51 カーキドラブ	54 カーキグリーン
XF-55 テックタン	44 タン
XF-56 メタリックグレイ	28 黒鉄色+30フラットベース
XF-59 テザータイエロー	19 サンティブラウン
XF-60 ダークイエロー	39 ダークイエロー
XF-62 オリーブドラブ	38 オリーブドラブ2

## 25 M4A1の完成 M4A1 (mid) completion

砲塔を車体に水平にクリックがあるまで押し込みます。  
360度どの方向からも着脱が可能です。  
砲塔を外すときは持つ所に注意しながら慎重に車体から持ち上げます。

Push the turret horizontally to the body. The turret is pushed in until there is click. Installation and removal is possible from 360 degrees in every direction. When removing the turret, raise from the body carefully.

ジェリカンや弾薬箱は自由に配置してください。  
車体前面のフエンダーの間に荷物受けとして板などを取り付けている例があります。下の図を参考に0.5mm厚程度の板で自作してもよいでしょう。  
なおガソリン用ジェリカンは車体前面には通常搭載しないのでご注意ください。



D10

《ワイヤーロープ》  
Tow cable

ワイヤーロープを取り付ける場合は、  
φ0.5ミリ程度の市販のナイロン紐やワイヤーを160ミリの長さに切り出し両端にD10を接着します。

Use either a 160 millimeter φ0.5 millimeter length of nylon string or wire. Glue D10 to the both ends.

XF-56  
メタリックグレイ  
METALLIC GRAY

《ワイヤーロープ取り付け例》  
Wire rope (Not included)

## アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、無償で正規の部品を送付させていただきます。お手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)、数量を明記の上、メールまたは電話/FAX、お手数のいずれかでご請求ください。またお客様都合による部品ご請求については、実費で部品をお付けいたしております。上記連絡方法のいずれかでご連絡いただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

メール / 電話 / FAX での受付

お手紙での受付 / 部品代金の送付先

**ASUKA MODEL**  
有限会社アスカモデル  
asukamodel.com

E-mail info@asukamodel.com  
TEL 054-203-2100 FAX 054-203-2103

〒422-8027 静岡県駿河区豊田3-5-30  
有限会社アスカモデル 部品請求係

1/35 アメリカ中戦車 M4A1 シャーマン(中期型)

M4A1 シャーマンについて

第2次世界大戦初頭のフランス戦における英仏軍の敗北により、来るべき戦争に備える新型戦車は75mmクラスの主砲を装備していることが必須の条件であることをアメリカ軍当局も痛感していました。しかし新型のM3中戦車では、目前に迫る開戦までに75mm砲を旋回砲塔に装備することは時間的に困難と判断され、M2中戦車のコンポーネントを流用し、車体に75mm砲を限界射界で装備した姿で配備されることになりました。M3中戦車は、つなぎとしての役割をよく果たし、北アフリカでのドイツ軍の進撃を押し留めることに貢献したのです。

M3中戦車の開発が一段落すると、75mm砲を旋回砲塔に装備する真の主力戦車となるべき新型中戦車の開発が続いて行われました。このT6と名づけられた新型中戦車はやはり足回りをはじめとするコンポーネントをM3から流用し、新規に車体上部と砲塔を開発することとされ、M3の量産開始(1941年6月)から遅れること数ヶ月後の1942年10月にはM4中戦車として制式化が決定されました。試作型のT6は車体上部全体が鋳造製の滑らかなシルエットを持ち、異なるエンジンを装備する形式の生産も計画されました。このためM4中戦車は、M4、M4A1からM4A4まで5つのタイプが並行して生産されることとなりました。

M4A1はT6の流れを汲む鋳造車体を持つタイプで、M4と同じ航空機用星型エンジンを採用していました。M4A1は1942年2月からシャーマンシリーズの中でも最初に量産が開始され、北アフリカ

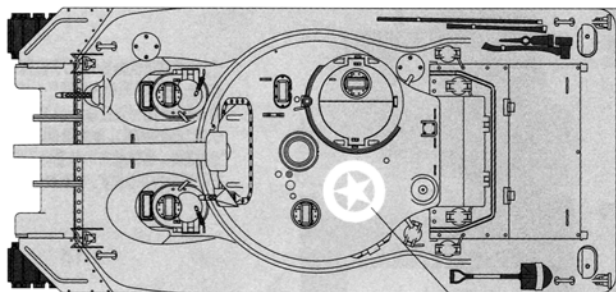
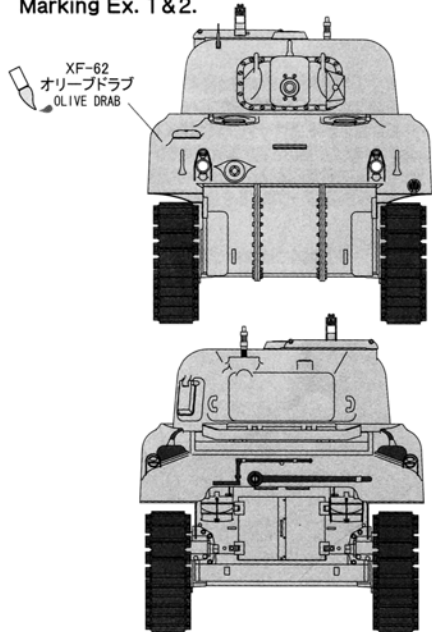
のイギリス軍に直ちに供与されたのです。これに引き続きアメリカ軍も1942年11月に北アフリカに上陸、M4A1はその主力として戦線に投入されました。極初期のM4A1は車体前方にM1919A4機銃2丁を固定装備し、ドライバーズセクションの前方に直視バイザーを装備していましたが、程なくこれを廃止し、サスペンションもバネを強化した新型に改められました。この後も、主砲防盾は型が生産される直前の1943年8月まで量産が続けられ、合計6281輛が生産されました。



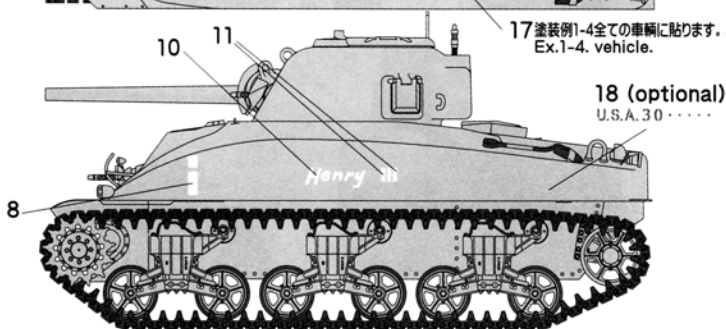
塗装例 1&2

第1機甲師団 第13機甲連隊 第2大隊 本部中隊 "Henry III" Henry E. Gardiner 中佐 1943年 チュニジア  
HQ Company, 2nd Battalion, 13rd Armored Regiment, 1st Armored Division. Tunisia. Spring, 1943.

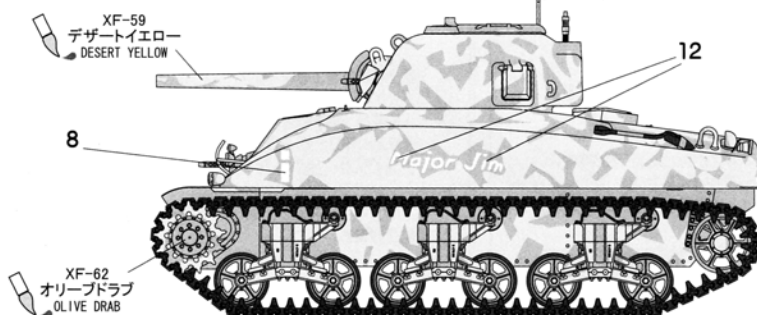
Marking Ex. 1 & 2.



17 塗装例1-4全ての車輛に貼ります。  
Ex.1-4. vehicle.



第1機甲師団 第13機甲連隊 第2大隊 本部中隊 "Major Jim" James Simmerman 少佐 1943年 チュニジア  
HQ Company, 2nd Battalion, 13rd Armored Regiment, 1st Armored Division. Tunisia. Spring, 1943.



第1機甲師団は1942年11月のトーチ作戦によって北アフリカに上陸しました。

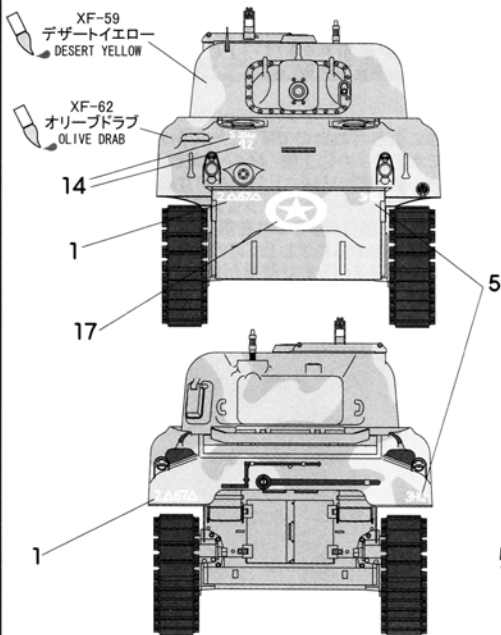
塗装例1のHenry IIIは指揮官のGardiner中佐の車輛で、チュニジアにおける中佐の3輛目のシャーマンでしたが、1943年5月にドイツの対戦車砲により撃破されています。車体後部の側面にはU.S.A.30.....で始まる7桁の車輛登録ナンバーが描かれていますが、殆ど判読できません。18番のマークを使い自由に番号を作ってもよいでしょう。

塗装例2のMajor Jimも同じ13中隊の所属で、Simmerman少佐の車輛です。この車輛は車輛全体に泥による迷彩塗装が行われています。

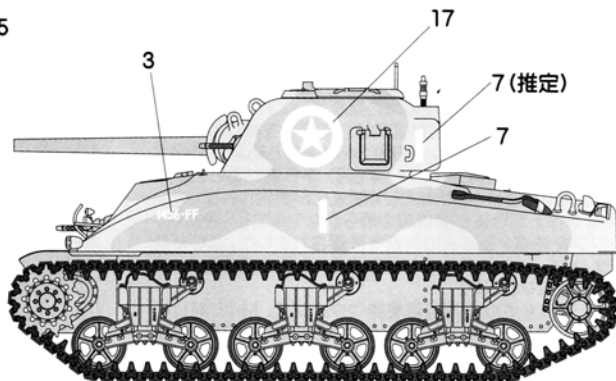
## 塗装例 3

第2機甲師団 第67機甲連隊 第3大隊 大隊本部 1943年7月 シシリー島  
3rd Battalion HQ, 67th Armored Regiment, 2nd Armored Division, Sicily, July 1943.

Marking Ex. 3.



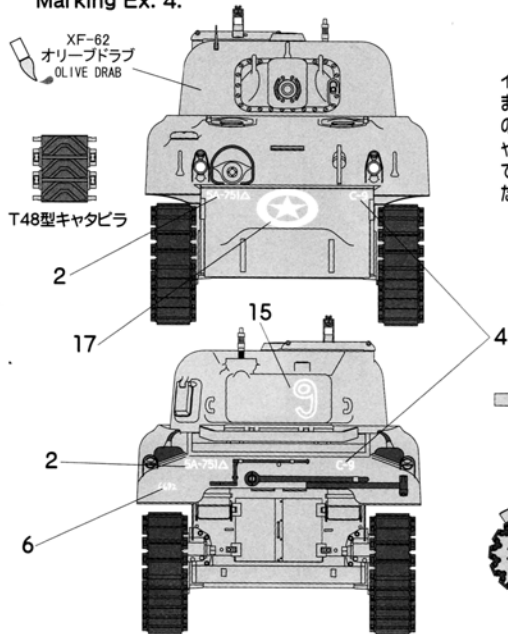
第2機甲師団は1943年7月11日、ハスキー作戦でシシリー島に上陸しました。本車は上陸に際し渡渉用のダクトを装備し、防盾と前方機銃は布でカバーされていました。イタリア戦線におけるM4A1の多くは基本色のオリーブドラブに大きな帯状のサンド色の迷彩が施されていました。シシリー島の戦いは2ヶ月に及び、7月24日にイタリアが降伏後の1943年8月11日、シシリー島の戦いは終了しました。



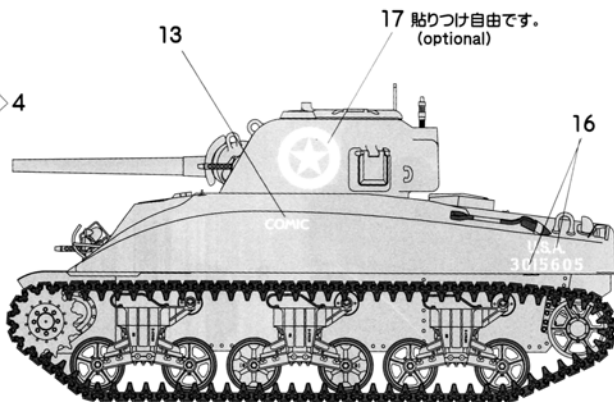
## 塗装例 4

第5軍 第751戦車大隊 C中隊 9号車 1945年4月 イタリア戦線  
Tank No.9, C Company, 751st Tank Battalion, 5th, Army, Italy, April 1945.

Marking Ex. 4.



イタリア軍降伏後もイタリアに残存するドイツ軍はイタリアを占領し、1945年4月末まで戦い続けました。第751戦車大隊はドイツ軍の降伏間近の1945年4月、イタリア北部のゴシック・ライン上のValbura山付近に達していました。本車はキットに付属するT51型キャタビラではなくT48型キャタビラを装備し、車体後部にはハンマーを装備していました。撮影された写真が後方からのものである為、車体前方の装備は不明ですが、時期的に砲塔右前方に増加装甲が取り付けられていた可能性があります。また車体左側中央のボギーはソリッドスポークホイールを装備していました。



### ■テカールの貼り方

1. 貼りたいテカールを切り取ります。
2. 切り取ったテカールを水またはぬるま湯に10秒ほど浸します。
3. 台紙ごと引き上げ、布やティッシュペーパーなどの上に置いて余分な水を吸い取らせてます。
4. 台紙の端を持ち、テカールをスライドさせて所定の位置に貼ります。
5. 指先に少量の水をつけて、少しずつすらしながら微調整します。
6. テカール内側に残った水や気泡を柔らかい布や綿棒などで押し出すように取り除きます。
7. 貼ったテカールが充分乾燥するまでは絶対に触らないようにご注意ください。
8. モールドなどの表面の凹凸に馴染みにくいときは、蒸しタオルや市販のテカール軟化剤などを使用してください。

本キットのテカールはニス部分が分割されているものもいくつかあります。貼る際に分離するので、あらかじめよくご確認ください。

### ご協力 (順不同)

- ・陸上自衛隊富士学校
- ・パッケージ原画: 加藤 単駆郎 氏
- ・人形原型: 吉岡 和哉 氏
- ・イラスト: モリナガ・ヨウ 氏
- ・人形イラスト: 上田 信 氏

このほか製品の開発のご協力頂いた皆様にも心より感謝申し上げます。